

令和5年8月24日

南箕輪村議会議長 原源次 様

提出者名 唐澤 由江

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	町村議会の課題と今後の展望について
研修・視察実施場所	役場講堂 大正大学江藤俊昭教授 オンライン
研修・視察の期間	令和5年 8月24日～ 年 月 日
研修・視察の成果等	<p>人口減少、公共施設の統廃合、なり手不足解消の誤解がある。議員報酬を増額、新しい原価方式、根拠を示す。定数削減をすれば当選ラインが上がり、若い人は出れなくなる。議会力アップにならない。夜間議会にすれば、アメリカのように仕事がないから、人は集まるが、日本では夜間だけでは議会が成り立たない。住民総会は大事だが首長と政策論争ができない。コロナ4年住民にがおお割れ2.5倍。多様性を進める。女性の政治進出を突破口に。合併で6万人の議員が3万人に減った。1か月9500円政務調査費をもらっているところが。地域力の低下により、政治劣化が進んでいる。政治競争の欠如、議員の固定化により、住民の主権者意識が侵食される。政策サポーターや、議会だよりモニターは有効。行政評価から決算審議・予算要望、予算審議が重要。議会からの政策サイクルの展開で議会基本条例に沿って行く。江藤先生の話は何回も拝聴しいくつかのモデルが生きている。懐かしい限りである。議会改革の風は吹いている。実践あるのみ。</p>

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。